

令和元年度 文京区立礪川小学校 授業改善推進プラン

＜ 3年 ＞

教科	現状分析	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書の学習や習字の学習など、3年生から始まる新しい学習に意欲をもって取り組む児童が多い。 ・進んで自分の考えを話したり聞いたりすることができる。記録しながら聞くことに課題が見られる児童が多い。 ・意欲的に文章を読む姿が見られる。段落の中心文や大事な事柄を読み取る力に課題がある。 ・物語の続きの文章を書いたり、感想を書いたりする際、意欲的に取り組み、書く文章量が増えてきている。相手を意識して内容や文章の構成を考えて書くことに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高い学習意欲が維持できるように、1年間を通して辞書を活用したり、毛筆書写を掲示したりする。 ・日頃からスピーチや発表の場を多く設定し、その際メモを取りながら聞く練習を続けることで、記録しながら聞く習慣を身に付けさせる。 ・段落から中心文を読み取る経験を増やす。また、段落相互の関係を正しく読み取れるようにする。 ・相手意識や目的意識をもち、調べた内容や自分の考えをメモなどに整理し、段落に分けて書くことができるよう指導する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域を実際に歩いて回り、体験を通して学習することができた。体験を通していろいろなことに気付き、学習した内容を分かりやすく工夫してまとめることに課題がある。 ・資料を読み取り、必要な情報を収集することに課題がある。 ・ワークテストの取り組み方を理解し、方位の表し方や区の土地の利用の仕方について理解することができた。 ・学んだ地図記号を積極的に探検地図に書き込むなど、学んだことを生かしながら取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童によって表現方法に差が出ないように、学習のまとめ方について例示をする。 ・授業中に資料提示を意図的に行い、資料の見方についても指導していく。また、教室掲示を工夫したり、方位磁針を適宜活用したりして学校を基準とし、四方位や八方位を習得させる。 ・知識と実際の場面を結び付けられるように、方位や土地の利用の仕方等を授業で積極的に取り入れていく。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が算数的活動に興味をもって取り組む姿が見られ、ノートに自分の考えを図や式、言葉を用いて表現することができるが、自分の考えを表現する力が十分でない児童もいる。 ・東京ベーシックドリル診断シートより、かさや、長さの単位換算の問題に誤答が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの中で自分の考えを、友達に分かるように発表したり、友達の考えの良さに気付いたりする場を設定する。 ・生活場面や、経験に関連付けて長さの単位「g」「kg」、かさの単位「ml」「dl」「l」の関係や、表し方を理解させる。

理科	<ul style="list-style-type: none"> ・生物や植物に関心をもち、学習に取り組むことができる。 ・観察・記録にすすんで取り組む姿勢が見られる。観察の手順や虫眼鏡の使い方などを理解し、学習に取り組むことができた。 ・植物のつくりや昆虫の体のつくりについて理解することができた。 ・自然の事象・現象について、予想を立ててから実験し、結果をまとめて、分かったことを考察する学習展開を常に行っている。実験結果と分かったことが同じ記述のままになってしまう児童が多く見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習意欲が持続できるような問題解決型の単元計画を立てる。 ・観察や実験の際に、丁寧に学習の手順を指示する。また、観察や実験に用いる道具の使い方についても安全に使用できるように指導する。 ・観察の際に、常に見る視点として植物や昆虫の体のつくりを意識させる。 ・実験結果だけを見るのではなく、そこから何が分かるのか、さらに掘り下げて考える活動を繰り返し行う。学習課題を明確にし、この学習では何を探るべきか、視点を明確にしてから、観察や実験を行うことで、視点を養う。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽室のきまりを守って、積極的に学習に取り組む児童が多い。集中できる時間については、個人差がみられる。 ・リコーダーの学習に積極的に取り組み、音色に気を付けて演奏しようとしている。運指に少々苦労している児童が見られる。 ・伸びやかに歌い、楽しんで歌唱の学習に取り組んでいる。一部の児童は、歌声の響きを意識して表現しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの学習のきまりを確認しながら、授業を進めていく。切り替えを素早くできるように声掛けをしていく。 ・楽しみながら技能を伸ばすことができる楽曲を提供するなど、指導を工夫する。 ・タンギングや運指、息の強さ、音色など、個別に指導していく。 ・響きのある歌声にあこがれをもっているため、無理のない範囲で発声や発音に注意しながら、自分の歌声に自信をもたせていく。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・興味を持って意欲的に活動に取り組んでいる。新しい用具や材料にも進んで関わり、表し方を生みだしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前半は造形遊びを多く取り入れ、材料や用具の扱いを選んだり慣れたりする中で、表し方を深めていけるようにする。また、相互鑑賞を様々な形で行うことにより、良さや面白さを感じ取れるようにする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・運動する楽しさを味わうことができる児童が多い。 ・苦手な技能を高めるための課題設定の仕方や振り返りの仕方に課題が見られる。 ・運動経験に偏りがある。様々な運動を通して、体力を高めていくことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が楽しめるような規則にし、運動する楽しさをさらに感じられるようにする。 ・1時間の中での明確なめあてをもって取り組めるようにし、常に振り返りの時間を設けることで次時への課題がもてるようにする。 ・日々の授業、体育朝会、コオーディネーション運動等を通して、多様な運動に取り組ませていく。家庭とも連携し、日頃から家庭で運動をすることを働きかけていく。

道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の時間における、道徳的価値について自分なりの思いや考えをもつことができる。対話を通して、自己の思いや考えと、他者との違いに気付くことに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の時間だけではなく、各教科や学校生活などにおいても、道徳的な心情を育むようにする。 ・自分の考えや思いと他者の考えの違いに気づき、多様な価値観を広げて実践意欲を高めるために、対話的活動を取り入れる。
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを活用して調べ学習をすることで、情報の取捨選択の必要性や検索方法などを理解することができた。 ・正しい情報についての判断や、自ら設定した課題を、様々な情報から収集し、精選して解決する力に課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の取捨選択や適切な検索方法について、コンピュータやSNS情報ノートを活用しながら継続して指導していく。 ・ICTサポーターの支援を生かしながら、適切な体験活動を取り入れ、課題解決に向けた探究活動の充実を図る。
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーとのやり取りを楽しみながら、意欲的に活動する児童が多い。 ・自分の考えに自信をもって発言することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語だけでなく、様々な言語に興味や関心もてるよう、ゲストティーチャーとの触れ合いから外国への興味や関心に繋げていく。 ・発言しやすいように、ペアやグループでの学習形態の工夫・改善を図り、段階を押さえた指導をしていく。